

令和5年度 学校評価(自己評価)

A…よくできている B…できている C…あまりできていない D…できていない

	保 児	評価項目	1 学期				2 学期				自由記述	考 察
			A	B	C	D	A	B	C	D		
教育課程	1	学校の教育目標の具現化のため、学年経営・学級経営など、教育実践に努めている。	55	45	0	0	40	60	0	0	・3学期、時数に余裕があれば、5時間授業の設定を図りたい。 ・各学校で作成する年間計画を見直し、実態に沿ったものにする。	・臨時休業等もなく、過不足なく予定通りの授業時数が確保できた。週案に記録しながら、必要に応じて5時間授業等の設定を図る。 ・金曜日の水曜校時や通知表の二期制によりできた放課後の時間を有効に使って、業務の効率化に努める。
	2	週案を活用して、計画的な授業確保と記録の蓄積を行っている。	73	18	9	0	40	60	0	0		
学力向上	3	学習習慣・学習規律(返事、筆手、聞き方、話し方、立腰、静と動の切替えなど)の指導が継続的に行われている。	18	73	9	0	20	60	20	0	・朗読大会も始まり、学力の基本の音読や読書が推進されている。 ・読書活動の推進(読み聞かせなど)	・家庭読書週間の読書カードの実践を継続し、家庭と連携した読書活動を更に推進する。 ・学級単位での図書室の利用や学級でのおすめの本コーナーの工夫など、学級に応じた取組を継続する。 ・学習でつまづきがちな児童への指導・支援に課題がある。補充学習や個別指導の時間を確保して基礎・基本の定着を図る。EILSの問題を積極的に活用する。 ・めあてや授業の流れの提示、タイムタイマーの活用、効果的な話し合い活動、ICT活用など共有化の工夫、めあてに応じたまとめなどを継続する。合わせて学習習慣や学習規律を日常的に指導していく。
	4	授業のユニバーサルデザイン化を意識した授業を実践している。(焦点化・視覚化・共有化)	45	45	10	0	30	70	0	0		
	5	授業の中で、書く力や話す力を付ける活動を積極的にを行い、力が付いてきている。	18	73	9	0	30	70	0	0		
	6	ノートの指導や点検を行っている。	64	27	9	0	40	40	10	10		
	7	⑨ 学習でつまづきがちな児童への指導・支援を適切に行うなどし、目標が達成されている。(国語科・算数科の単元別テストの平均正答率80%)	18	73	0	9	10	80	0	10		
	8	読書の習慣が身に付くような指導を行い、成果が出ている。	55	45	0	0	60	30	20	0		
	9	⑦ ⑦ 学力向上推進計画で定めた目標値は達成できている。	9	82	9	0	0	80	20	0		
10	⑥ ⑥ 忘れ物をしないで、学習用具の準備がきちんとしてきている。	64	36	0	0	40	60	0	0			
現職教育・研修	11	研究主題・研究内容・研究方法を理解し、進んで取り組んでいる。(2部会での取組事項など)	27	73	0	0	40	60	0	0		・本校の少人数のよさを生かして、何でも聞き合える雰囲気大切に。3学期は授業の動画を録画し資料箱に保存したり、講演会の動画を視聴したりするなど、研修の方法を工夫していきたい。ICTミニ研修は、3年目となり内容の工夫が必要である。
	12	自身のキャリアステージを意識し、求められる資質・能力の向上に努めている。	45	55	10	0	60	40	0	0		
特別支援教育	13	個別の支援計画・個別の指導計画に基づいた支援・指導を着実に実行している。	45	45	10	0	30	70	0	0	・研修する機会が多くあり、選択して研修に参加できるのがうれしい。	・自主的に特別支援教育に関する研修を受けようとする方がいてくださりありがたく思っている。これからも、研修案内がたくさん回ってくるので、良いと思う研修があったら参加希望を出してほしい。
	14	一人一人の児童の特性を理解し、よさや可能性を伸ばす教育実践に努めている。	64	36	0	0	40	60	0	0		
	15	特別支援学級の児童と交流学級の児童が積極的に交流し、関わったり、教師間の連携を図ったりしている。	64	36	0	0	60	40	0	0		
道徳教育	16	道徳の授業において学校行事や特別活動、生活等との関連付けをしながら、道徳的な実践力が高まるように努めている。	36	64	0	0	40	60	0	0	・計画的な授業実践ができた。なかま集会の発表や日々のなかまづくりなど、日常実践と重ねて指導していきたい。	・年間指導計画に沿って計画的な授業実践を継続する。学校行事、特別活動(なかま集会)、生活等と照らし合わせながら、なかまづくりや日常生活での実践につなげる。 ・時季に応じた掲示物の貼り換えなど、豊かな心の育成につながる環境整備に努める。
	17	道徳性を育てる環境整備に努めている。(教室・校舎内掲示・家庭との連携等)	27	73	0	0	50	50	0	0		
	18	児童の学習状況や成長の様子を適切に評価し、指導方法の改善・充実に取り組んでいる。	45	55	0	0	40	60	0	0		
	19	② ② 友達に対し、優しい気持ちで接する児童が育っている。	36	55	9	0	30	60	10	0		
人権・同和教育	20	同和問題解決への姿勢を確立するための職員研修に努めている。	73	27	0	0	60	40	0	0		・職員研修は、3学期も引き続き行っていく。 ・なかまづくりは、各学年で日々の生活や授業中、なかま遊び等に努めている。 ・保護者啓発に当たっては、機会あるごとに少しでも同和問題や性的マイノリティをはじめその他の差別・偏見について触れ、回数を重ねていくことも大切である。
	21	⑫ 不合理や矛盾・差別に気づき、解決していくなかまづくりに努めている。	64	36	0	0	50	40	10	0		
	22	家庭や地域に対して、積極的な啓発活動に努めている。	45	55	0	0	60	30	10	0		
生徒指導	23	あいさつ・「はいっ」の返事・はきものそろえなどの指導を継続的に行い、児童に身に付いている。	36	55	9	0	20	80	0	0		・あいさつやはきものそろえなど、3学期以降も担任を中心に指導を続けていく。 ・家庭や地域との連携を密にし、児童との関わりにつなげていく。 ・清掃活動において、各担当で指導するとともに、それでも改善されない場合、担任と相談するなど徹底に努める。
	24	⑩ ⑫ 児童観察やアンケートに基づいた教育相談を実施し、全教職員による共通理解を図り、いじめ・不登校問題等の未然防止・早期発見・早期解決に努めている。	36	64	0	0	70	30	0	0		
	25	必要に応じて家庭や地域・関係諸機関と連携を図っている。	73	18	9	0	50	50	0	0		
	26	黙って時間いっぱい掃除をしている。	36	55	0	9	20	60	10	10		
安全指導	27	⑬ 廊下歩行や遊具・教具の適切な使い方、熱中症予防、不審者対応など生活安全に関する指導を適切に行っている。	45	55	10	0	10	90	0	0	・廊下の歩行指導や遊具の安全な使い方を常に実施し、けが予防につなげたい。 ・避難・防災訓練は計画的に実施され、反省点や改善点を日々の学校生活に生かしたい。 ・校舎の老朽化に伴う水漏れ等の不備箇所を修理してほしい。	・廊下に「廊下を歩こう等」の張り紙をしたコーンを置いて、廊下を走らないように意識づけたい。
	28	⑬ 避難訓練、防災訓練など防災に関する指導を適切に行っている。	45	55	0	0	60	40	0	0		
体力づくり	29	ITスタジアムやマラソン等、体力づくりに継続して取り組もうと努めている。	18	82	0	0	40	60	0	0	・これからの体力づくりに合わせて、全校でITスタジアムの参加を促進したい。	・マラソンタイムや縄跳びを積極的に取り組んでいた。 ・ITスタジアムへ学級で参加する。 ・安全に遊びや運動に取り組めるように引き続き備品の修繕などを行う。
	30	⑪ 中休みや昼休みには、運動場に出て友達と元気に遊ぶことができている。	45	55	0	0	50	50	0	0		
健康教育・保健指導	31	③ ③ 「早寝・早起き・朝ご飯」など健康的な生活習慣・リズムが定着するよう啓発や指導をし身に付いている。	27	73	0	0	10	80	10	0		・夏休み中の生活から健康的な生活習慣・リズムが取り戻せるよう、保健だよりを活用し啓発を行った。 ・例年より早期に、インフルエンザ等の感染症が流行したため、適宜感染症予防の啓発や保健活動の制限、マスクの配布などを行った。
	32	児童が安全に気を付けて生活できるよう、学校内外の安全指導を適切に行っている。	45	45	10	0	10	90	0	0		
特別活動	33	学級活動(話し合い活動)の充実を努めている。	18	82	0	0	20	80	0	0		・委員会活動を充実させ、3学期以降も学校のために積極的に活動できる場を設ける。 ・代表委員会も予定通り、行うことができた。3学期以降も続けていく。
	34	委員会活動、係活動を通して、児童に自主的・実践的な態度が育っている。	36	64	0	0	50	50	0	0		
	35	キャリア教育の視点に立った教育活動を実践している。	27	64	9	0	20	80	0	0		
情報教育・情報管理	36	情報モラルに関する指導を発達段階に応じて行っている。	36	55	9	0	30	60	10	0		・学力向上のための効果的な使い方ができるようになってきている。 ・スクラッチなどのサイトからゲームをする児童がおり指導を徹底する。 ・ICT機器を使用しながら情報モラルの指導を継続して行う。
	37	プログラミング教育年間指導計画で示された機器の基本的な操作ができるようになってきている。(1学期:全学年の目標 2学期:該当学年の目標)	27	73	0	0	10	80	10	0		
	38	タブレット、書画カメラ、大型提示装置などICT機器の効果的な活用に努めている。	64	36	0	0	50	40	10	0		
	39	校務支援システム・ミライムを積極的に活用し、校務の情報化に取り組んでいる。	36	64	0	0	70	30	0	0		
組織・運営・教職員	40	諸行事の計画・実施・運営は適切である。	45	55	0	0	70	30	0	0		・3学期からは教頭が通常業務に戻るので「ホウ・レン・ソウ」が落ち着いて確実にできる。小さなことでも構わないので、管理職に伝えてほしい。
	41	自分の校務分掌を果たし、教職員組織がよく機能するよう努めている。	64	36	0	0	70	30	0	0		
	42	報告、連絡、相談を確実にし、教育公務員としての適正な服務に努めている。	73	27	0	0	60	40	0	0		
	43	業務改善を意識し、超過勤務になりすぎないように仕事の効率化を図っている。	27	73	0	0	40	50	10	0		
施設・設備	44	教科等の指導に必要な設備・備品等の管理・保管・整理は適切である。	45	45	10	0	30	60	10	0	・校舎の老朽化に沿って、不備箇所を修理してほしい。	・施設の修繕・整備は、教育総務課に挙げているので、待つてほしい。新たに発見したものについても、随時挙げていく。 ・資料室等片付けが進んでいる箇所については、その状態が保持できるように気を付ける。(あった場所に返す、位置を示す等) ・各教室の環境と施設については、担当箇所や担当日に責任を持って行う。
	45	校地・建物・施設・設備等の点検整備は適切である。	45	45	10	0	20	70	10	0		
	46	危機管理マニュアルを活用し、安全対策に努めている。	27	64	9	0	30	70	0	0		
	47	教育の場にふさわしいように教室等の環境を整えている。	64	36	0	0	50	50	0	0		
48	個人情報の管理や金銭の管理、施錠等を適切に行っている。	64	27	9	0	70	30	0	0			
保護者・地域との連携	49	電話や家庭訪問、連絡カード(ノート)など保護者との連携を密にし、信頼関係づくりに努めている。	45	55	0	0	60	40	0	0		・地域行事、学校行事など保護者・地域との連携を図る機会が確保できている。協力的に動いてくださる保護者も多い。ゲストティーチャーに来ていただく活動を日常の授業に取り入れた。地域行事やPTA活動に積極的に参加したりして更に連携を深めていく。 ・学校の様子が分かりやすく発信できているので、今後も継続していく。
	50	⑭ ⑭ コミュニティ・スクールであることを意識して、連携が進むように自ら受容的・積極的な対応を行い、保護者等の人材開発と活用による、地域を巻き込む教育実践に努めている。	64	36	0	0	50	50	0	0		
	51	⑮ 「学校便り」や「学級便り」等を活用し、学校の方針や活動を保護者や地域の方に理解してもらうよう努力している。	55	45	0	0	60	40	0	0		
その他										・勤務時間の周知や電話対応時間を周知してくださったおかげで、放課後の気持ちが楽になっています。ありがとうございます。		